

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ワクチン価格等調査事業	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ワクチン価格等について、卸売販売業者から医療機関への実販売価格の実態を十分に把握できていないため、地方自治体、医療機関、卸売販売業者等の関係者の協力を得て、ワクチン価格等の接種費用の実態調査を行い、予防接種費用の地域差の是正や価格の適正化を図り、もってわが国の予防接種率の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ワクチン価格等について、卸売販売業者から医療機関への実販売価格の実態を十分に把握できていないため、地方自治体、医療機関、卸売販売業者等の関係者の協力を得て、ワクチン価格等の接種費用の実態調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					27
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	調査によるワクチン接種費用の低減効果は算出困難	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査の有効回答数	活動実績 (当初見込み)	回	—	—	—	—
				—	—	—	( — )
単位当たりコスト	— (円/ — )		算出根拠	調査に係る費用を客体数で除して算出。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	薬事経済調査委託費	0	15.8				
	医薬品審査等業務庁費	0	11				
	職員旅費	0	0.2				
計	0	27					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	市町村の予防接種への支出を減らすことは国民全体の利益であり、ニーズがあり優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	全国的な調査は国でないと実施できないため、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	調査を行うため、必要最低限のものに限られている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国が主体となり調査を実施することで、全国的に効率よく調査することができ、他の手段と比較しても実効性の高いものとなっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	わが国のワクチン接種率を向上させるため、予防接種費用の低減は必要不可欠かつ効果の高いものであるため、引き続き予算の確保が必要。		
予算監視・効率化チームの所見			
-	本事業は、「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」を踏まえて、ワクチン価格等の接種費用の実態調査に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## 平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立国際医療研究センター臨床研究基盤体制整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	疾病対策課 肝炎対策推進室		肝炎対策推進室 北澤 潤		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第18条第1項及び第2項		関係する計画、通知等	日本再生戦略、医療イノベーション5か年戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	肝炎患者の治療成績の向上、生命予後の改善のために国内に世界有数の研究拠点を整備し、先駆的な研究を強力に行うことができる体制の構築することにより肝炎対策の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本の肝炎研究の中核施設である国立国際医療研究センター(肝炎・免疫研究センター)に最先端機器等を整備し、世界最高レベルの研究が遂行できる体制を構築する。 国内に世界有数の研究拠点を整備することにより、肝炎患者の適切な治療や生命予後の改善につながり、国内最大級の感染症である肝炎の大幅な増加の防止を図ることが期待できる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	1,600
		補正予算						
		繰越し等						
		計						1,600
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	肝炎患者増加の抑制効果を示す指標がないため、数値で定量的に成果目標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	肝炎患者増加の抑制効果を示す指標がないため、数値で定量的に活動指標を示すことは困難である。		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)	%	-	-	-	
単位当たりコスト	-		(円 / -)	算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	人件費	-	169	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 1,600				
	備品費	-	1,407					
	消耗品費	-	8					
	印刷製本費	-	2					
	通信運搬費	-	4.32					
	委託費	-	9.45					
	計	0	1,600					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は国内最大級の感染症である肝炎の治療成績の向上等を目指して実施するもので、ニーズ・優先度共に高い事業である。
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	-
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果	-		
予算監視・効率化チームの所見			
-	本事業は、肝炎治療成績の向上を目的として、我が国の肝炎研究の中核施設である国立国際医療研究センターに、高度かつ先進的な臨床研究の体制整備に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立ハンセン病資料館収蔵庫増設経費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立ハンセン病資料館は、常設展示や企画展示、教育啓発活動等の充実を図るとともに、ハンセン病政策の歴史を物語る貴重な資料の散逸を防ぎ、普及啓発活動を効果的に実施するため、計画的に資料を収集し、適切に保存する必要があるが、これまでに収集した資料により既存の収蔵庫が手狭になり、資料館活動に支障を来していることから、貴重な資料の適切な保存と後世に確実に継承するために、新たに収蔵庫を整備するための調査・設計を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					12
		補正予算					
		繰越し等					
		計					12
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果目標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき普及啓発及び名誉回復に必要な施設を整備するものであるため。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動指標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき普及啓発及び名誉回復に必要な施設を整備するものであるため。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
				( — )	( — )	( — )	
単位当たりコスト	— (円/ )	算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0	0				
	施設施工庁費	0	12				
	計	0	12				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的や重要性の観点から優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
-	本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくハンセン病の資料展示のための保存庫整備に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	造血幹細胞移植拠点病院事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 間 隆一郎		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-1 適切な移植医療を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	造血幹細胞移植拠点病院を指定し、患者の疾病の種類やステージに合わせた早期治療の実践を行うとともに、造血幹細胞移植に関する人材の育成、研究等を行い、治療成績の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	造血幹細胞移植(骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植)及び採取術を相当数行う病院の中から拠点的な病院を指定し、早期治療の実践を行うとともに、造血幹細胞移植に関する人材育成、研究等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					227	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	非血縁者間骨髄等採取数		成果実績	回	—	—	14,056	前年度以上
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	非血縁者間造血幹細胞移植実施数		活動実績 (当初見込み)	回	—	—	22,480	—
					—	( — )	( — )	(前年度以上)
単位当たり コスト	25,209,000(円/か所)		算出根拠	造血幹細胞移植拠点病院1か所あたり補助金額 226,881,000(円)÷9(か所)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	補助金	—	227	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 227				
	計	—	227					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	造血幹細胞移植拠点病院を整備することにより、患者の疾病の種類やステージに合わせた治療が行われ、治療成績の向上が図られることから、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、国の主導において拠点病院の整備を行うことにより、造血幹細胞移植医療の底上げを図り、治療成績の向上を図るものであることから、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は造血幹細胞移植拠点病院に限られる。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
－	本事業は、造血幹細胞移植治療の成績の向上及び研究の促進を目的として、研究に資する治療実績の集積・提供、研究成果の実践・検証に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	広島原爆体験者等健康意識相談等事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 稲葉 和男		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-3 原子爆弾被爆者等を援護する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当事業は、広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	広島原爆体験者等健康意識相談等事業 対象者: 広島原爆により黒い雨を体験したと訴える方 事業: (1) 保健所、市町村保健センター等で、保健師等による個別面談を通じた継続的な保健指導と健康教育等を実施 (2) 地域の関係機関との連携により総合的なケアを図る体制を構築 等							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位: 百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算					32	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					32	
		執行額						
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該事業は、広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ることを目的としているので、数値で定量的に成果目標を示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該事業は、広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ることを目的としているので、数値で定量的に成果目標を示すことは困難である。		活動実績	人	-	-	-	-
			(当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	-(円 / - )		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	-	30.76					
	諸謝金	-	0.49					
	委員等旅費	-	0.68					
	社会保障関係情報化業務庁費	-	0.29					
計	-	32.22						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	事業目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、重要性の観点から優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		-	
予算監視・効率化チームの所見			
-		本事業は、広島原爆による被爆の未指定地域で原爆由来による影響を受けたと不安を訴える方に対し、不安軽減を図るための相談等の実施に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-		-	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		-	平成23年行政事業レビュー
			-

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	糖尿病診療管理ネットワーク強化事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村 博承	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	糖尿病有病者の増加の抑制、合併症の減少、治療継続者の増加を図り、重症化・合併症発症予防のために、新規治療薬等の臨床応用や受療中の患者に対する適切な療養指導等が行えるための診療情報連携を推進する基盤整備を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	糖尿病をの新規治療薬等の臨床応用に向け、糖尿病患者の血糖管理状況や合併症の発生状況などの臨床情報の集積や医療従事者の研修などを行う糖尿病診療管理拠点病院を整備する。 【補助率】1/2、10/10						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					444
		繰越し等					
		計					444
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	各補助対象者において目標等を設定するため、統一した目標等を設定することは困難である。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業を実施する医療機関数		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	糖尿病診療管理ネットワーク強化事業	—	444	平成25年度新規要求			
	計	—	444				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	糖尿病患者の重症化・合併症発症を減少させることは、国民の健康の保持増進・国民医療費の削減に資するものであり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	—		
予算監視・効率化チームの所見			
—	本事業は、国民の健康増進や医療費削減を目的として、創薬を含めた新規診断・治療法を開発するため、糖尿病患者の血糖管理状況や合併症の発生状況等の臨床情報を集積する機能を持つ拠点病院を整備するに必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	がん医療に携わる看護研修事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村 博承	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	がん対策基本法第14条		関係する計画、 通知等	「がん対策推進基本計画」			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	平成24年に閣議決定した新たな基本計画では、重点課題として「がん医療を担う専門の医療従事者の育成」を掲げており、様々な医療従事者がチーム医療を推進することとしていることから、がん医療に携わる指導者の質の向上を目指し、質の高いがん医療を提供するための研修事業を進めるために必要な事業である。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	関連団体と協力し、がん医療を担う医療従事者に対する指導者研修会を実施し、受講した指導者ががん診療連携拠点病院において医療従事者に教育することによりがん医療の質を向上させる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					31
	執行額						31
	執行率 (%)						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	研修会の開催という事業内容上、目標値で評価する性質のものではないため、定量的な成果指標を示すことは困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研修開催回数	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たり コスト	(円/ )	算出根拠					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	がん医療に携わる看護研修事業	—	31	平成25年度新規要求			
計	—	31					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国においては年間70万人ががんに罹ると推計されていることから、がん医療の従事者に対する研修や、専門的な知識及び技能を有する医療従事者の育成を行うことにより、がん患者が適切な医療を受けられ、充実した療養生活を送ることができるものとして重要である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	—		
予算監視・効率化チームの所見			
—	本事業は、がん看護の質の向上を目的として、がん看護を専門とする看護師の育成するため、教材の作成、指導者研修会の実施等に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医科歯科連携事業	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	がん対策・健康増進課	がん対策・健康増進課長 木村 博承			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法第16条	関係する計画、通知等	「がん対策推進基本計画」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がん化学療法では、骨髄抑制による全身状態の一時的な低下に加え、嘔気・倦怠感などによって口腔内の衛生状態が悪化するため、口腔粘膜炎や歯科疾患など、口腔に関するトラブルが約40%発生すると報告されている。このような口腔のトラブルは、経口摂取を困難にしてがん治療の質を著しく低下させる要因となるため、外来化学療法中のがん患者が口腔治療を地域で安全・安心に受けられる地域基盤や連携体制を構築するとともに、がん患者の経口摂取を支援するために必要な事業である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医療従事者育成と連携体制の構築、②医科歯科連携に有用な医療情報の提供及び開発、③歯科医師を対象とした均てん化講習会の開催を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					15
		補正予算					
		繰越し等					
		計					15
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	研修会・講習会の開催や連携体制の構築、情報提供という事業内容上、目標値で評価する性質のものではないため、定量的な成果指標を示すことは困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研修会・講習会の開催回数	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たりコスト	(円/ )	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	医科歯科連携事業	—	15	平成25年度新規要求			
	計	—	15				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	がん化学療法では、口腔内の衛生状態が悪化するため、口腔粘膜炎や歯科疾患などのトラブルが発生し、経口摂取を困難にしてがん治療の質を著しく低下させる要因となることから、がん患者が口腔治療を安全・安心に受けられる地域基盤や連携体制を構築するとともに、がん患者の経口摂取を支援するために必要な事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	—		
予算監視・効率化チームの所見			
—	本事業は、外来化学療法中の患者の経口摂取を支援するため、歯科医師を対象とした均てん化講習会等の実施に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	がん患者の就労問題に関する実態分析事業		<b>担当部局庁</b>	健康局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度		<b>担当課室</b>	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村 博承			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-3-7 健康づくりを推進する					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	がん対策基本法第17条		<b>関係する計画、通知等</b>	「がん対策推進基本計画」					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	新たながん対策推進基本計画では「がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築」を全体目標に掲げていることから、患者の就労を含めた社会的な問題を解決するため、就労に関するニーズや課題を明らかにし、職場における理解の促進、相談支援体制の充実を図るために必要な事業である。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	がん診療連携拠点病院を中心に、がん患者、医療従事者、相談支援センター相談員に調査を実施し、がん患者の就労の実態を把握し、今後の課題やがん患者のニーズを分析する。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算					60		
		補正予算							
		繰越し等							
		計					60		
		執行額							
	執行率 (%)								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	実態調査及び分析という事業内容上、目標値で評価する性質のものではないため、定量的な成果指標を示すことは困難である。		成果実績	—	—	—	—	—	
			達成度	%					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	実態調査及び分析という事業内容上、定量的な活動指標を示すことは困難である。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—	
					( )	( )	( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠						
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	<b>主な増減理由</b>					
	がん患者の就労問題に関する実態分析事業	—	60	平成25年度新規要求					
				日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 60					
	計	—	60						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	がん罹患を理由とした解雇等の就労問題が起きている現状があり、新たながん対策推進基本計画では「がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築」を全体目標に掲げたことから、この就労問題を解決するため、職場における理解の促進、相談支援体制の充実を図るために必要な事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	—		
予算監視・効率化チームの所見			
—	本事業は、がん診療連携拠点病院を中心にがん患者の就労の実態を把握し、今後の課題やがん患者のニーズの分に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	健康・栄養モニタリングシステム		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村 博承	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針(平成24年厚生労働省告示大430号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国において、昭和53年より「国民健康づくり対策」を展開し、平成25年度より第4次国民健康づくり対策を開始し10年間行うこととしている。この第4次国民健康づくり対策では、国は、継続的に健康指標の推移等の調査及び分析を行い、その結果に関する情報を国民や関係者に還元することとしており、設定した主要な目標について継続的に数値の推移等の調査及び分析を行い、都道府県における健康状態や生活習慣の状況の差の把握する必要があるため。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県における健康状態や生活習慣の状況の差の把握する為のシステムの開発を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					52
		繰越し等					
		計					52
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	システム開発経費のため数値化した指標を設定することは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	システム開発経費のため数値化した活動指標を設定することは困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				-	( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	健康・栄養モニタリングシステム整備事業費	-	52	平成25年度新規要求			
計	-	52					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成25年度より実施する健康日本21(第2次)を推進していくために必要な事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	—		
予算監視・効率化チームの所見			
—	本事業は、次期国民健康づくり運動において、健康指標の推移等の情報を国民に還元することが求められていることから、情報の把握及び還元に必要なシステム構築に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	浄水技術評価制度検討事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ 2 1 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第5条		関係する計画、通知等	水道施設の技術的基準を定める省令 水道水中のクリプトスポリジウム等対策の実施について (平成19年3月30日健水発第0330005号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	紫外線処理等の十分な知見が蓄積されていない新しい技術について、特に十分な技術力を有していない水道事業体における導入阻害要因を無くし、費用対効果からみて最も適切な技術の導入を促進するため、当該新浄水処理技術の評価・診断する仕組みを構築し、適切な選択に寄与する評価制度を構築すると共に、導入後に判明した水源の問題にも迅速に対応出来るよう知見を蓄積する仕組みを構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	急速ろ過等の確立された浄水処理技術に比べて、紫外線処理等の十分な知見が蓄積されていない新技術については、特に十分な技術力を有していない水道事業体で導入が進まない傾向にある。また、導入技術の評価・診断する仕組みがなく、導入後に判明した水源の問題への対応が遅れがちである。 水道水源は、常に上流からの汚染リスクにさらされており、十分な技術力を有していない水道事業体でも、浄水処理施設が水源のリスクレベルに対応できているかを評価し、最適な技術が導入出来るようにするため、知見の蓄積が不十分な新しい浄水処理技術を個々の浄水施設に導入する際の当該技術の有効性、適合性、現存設備との比較検証、費用対効果分析等を行い、導入技術の施設診断の在り方を検討し、診断手法を確立する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					10	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	選定した技術のうち、有効性、適合性を検証した技術数 (検証作業はH26～H27年度)	成果実績	%	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	選定した技術の事例調査数		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	約300～500万円		算出根拠	予算額/選定予定技術数(2～3件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費		10					
	計	0	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現在、中小事業体における技術力は急速に低下しており、水道施設に適切な技術を導入する仕組みを急ぎ整備することは、水道経営の健全化に寄与し、低廉な料金を求める国民のニーズに沿ったものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	水道施設の技術的基準は厚生労働省令で定めており、新技術の有効性、適合性についての評価手法についても、国において確立すべきものである。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>現在、中小事業体においては、重要なライフラインの1つである水道施設に関する技術力が急速に低下しており、水道の持続が危ぶまれる中小事業体で費用対効果も含めて適切な技術を導入出来るよう、新しい浄水処理技術を評価する仕組みを急ぎ整備することは、水道経営の健全化に寄与し、低廉な料金を求める国民のニーズに沿ったものである。</p> <p>また、水道施設の技術的基準は厚生労働省令で定めており、新しい浄水処理技術の各水道に対する有効性・適合性について評価する標準的手法についても、国において確立すべきであり、浄水技術評価制度検討は国で実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
－	<p>本事業は、浄水処理の診断方法を確立し、水処理の安全性を高めるため、知見が十分に蓄積されていない新しい浄水技術の有効性、適合性等の分析に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設危機管理体制構築事業費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	水道課	水道課長 石飛 博之			
会計区分	一般会計	施策名	II 2 1 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第40条	関係する計画、通知等	飲料水健康危機管理要領について(平成14年6月28日健水発第0628001号) 都道府県水道地図作成要領について(平成22年7月26日健水発0726第1号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災のような広域災害時に、遠隔地の応援事業体等に対してスムーズな情報連絡を行うことで、適切な応急給水、迅速な災害復旧を可能とする。また、自然災害、水質事故等が発生した際の広域的な水質監視体制の整備や監視結果の施設運用への反映等にも活用する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災では被害が広域であったこともあり、被災事業体の情報について、事前の応援事業体での把握や応援拠点での集約が困難で、さらには水道施設の図面等が消失したケースもあり、災害復旧に支障を来した。また、平成24年5月には利根川水系でホルムアルデヒドの水質基準超過事案による広域的な断減水が発生した。 このような広域災害への対応として、情報集約、応援体制の整備等の危機管理体制構築の検討を行う。その検討においては、国土交通省が進めるインフラの施設情報のGIS化等との連携も検討しつつ、全国の水道事業の台帳、図面等を電子化し、効率性、迅速性の向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					10
		補正予算					
		繰越し等					
		計					10
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (26年度)
	47都道府県の水道台帳情報の電子化及び共有	成果実績	%	-	-	-	100
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	簡易情報共有システムの構築	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	約20万円	算出根拠	予算額/47都道府県				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		0.5				
	委員等旅費		0.3				
	庁費		0.3				
	食品等試験検査費		4.3				
	社会保障関係情報化業務庁費		5.0				
	計	0	10				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	水道の危機管理については、近年の震災や水質事故時においても国民の関心や要求は高く、より迅速かつ効率的に対応する体制を整えることは急務である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	地方自治体の枠を越えた広域災害・事故への対応を念頭に置いており、国で体制構築を行うべきものである。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>重要なライフラインの1つである水道の危機管理については、近年の震災や水質事故時においても国民の関心や要求は高く、より迅速かつ効率的に対応する体制を整えることは急務である。</p> <p>また、地方自治体の枠を越えた広域での災害・事故への対応を念頭に置いた危機管理体制を構築するものであり、国で体制構築を行うべきものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
－	<p>本事業は、広域災害発生時に、適切な応急給水、迅速な災害復旧を可能とするために、水道施設の図面等の情報集約、応援体制の整備等の危機管理体制構築の検討に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					